

令和 6 年度 ふくろうの郷 事業計画に対する報告

【介護現場の取り組みについて】

(1) 介護業務について

- ・ 職員不足への対応として、従来のフロア固定勤務を廃止し、柔軟なシフト編成が可能な体制へと移行いたしました。
 - ・ 記録の記載方法および内容を全フロアで共通化することで、業務の差異や職員異動時の混乱を軽減しております。
 - ・ ご入所者および職員の身体的負担軽減を目的に、車椅子 3 台（うちクライニングタイプ 1 台含む）および昇降テーブル 1 台を新たに導入いたしました。
 - ・ 事故発生時の連絡体制を見直し、再発防止を図るべく、ユニット会議において該当事例に関する研修を実施しております。全職員の意識と対応力向上に努めております。
-

(2) 給食業務について

- ・ 栄養士が 6 月をもって退職となりますが、主任調理員を中心に、委託業者と連携しながら適切な食事提供を継続しております。
 - ・ 米の価格高騰および地元業者の閉店により仕入れに一時的な支障が出ましたが、現在は委託業者による安定供給体制を確保しております。なお、価格高騰は今後も継続が見込まれ、令和 7 年度も食材費の増加が懸念されます（※令和 6 年度末に北海道からの支援金あり）。
-

(3) 入浴介助について

- ・ 特別浴槽使用時には、全身の状態確認を行える利点を活かし、「ヒヤリ・ハット報告（記録様式）」を活用しております。毎月開催の事故・ヒヤリハット委員会にて内容確認を実施しております。
-

【施設の運営・管理の取り組みについて】

(1) 運営管理について

- 令和 6 年度は羅臼町からの補助金により、経営の危機的状況を乗り越えることができました。現在は原因究明と再発防止のための改善策に取り組んでおります。
 - 今後も「空床ゼロの維持」「介護職員の安定確保」「残業時間の抑制」「補助金等の積極的な確保」を運営の柱としてまいります。
-

(2) 職場環境について

- ユニット会議等を通じ、職員一人ひとりの意識改革を促しています。個々の行動が法人の評価、さらには町全体の評価につながることを再認識してもらっています（外国人スタッフの受け入れ体制整備や介護の質向上も含む）。
 - 管理職が現場の課題やスタッフの想いを受け止めることで、職員の精神的安定を図っております。引き続き「報・連・相」の徹底を継続してまいります。
-

(3) 防災対応について

- 毎月の防災委員会を通じ、これまで把握されていなかった備品の確認や連絡体制の見直し、講習計画の策定を行っています。
 - 避難訓練を通じて、施設構造上の課題（避難経路の確保の難しさ）を把握し、対応策の明確化を進めております。
-

(4) 広報活動について

- ホームページの更新が長らく滞っていたため、再構築を実施し、ブログ機能を導入することで、町民の皆様に幅広く情報を発信できるよう工夫しております。
- また、毎月の請求書には「施設長だより」を同封し、定期的な情報提供を継続しています。